

第7章 再整備の基本方針

保存活用計画に基づき、貴重な歴史遺産である史跡安田城跡の適切な再整備を図り、その価値を未来へ確実に継承していくとともに、城跡の魅力を伝え、人々に憩いややすらぎを提供し、地域の活性化にも寄与する史跡公園とするため、再整備の基本方針を次のとおり定める。

1. 遺構の確実な保存と景観保全

- ・再整備は、史跡安田城跡の本質的価値である中世城郭の遺構を確実に保存するとともに、史跡公園としての景観を保全することを前提として実施する。
- ・地下に埋蔵されている遺構等については、覆土による適切な保存措置を講じ、曲輪等地上にある遺構については、調査研究成果に基づき、それぞれの立地環境や遺構の性質に応じて適切な保存措置を行う。

2. 史跡の本質的価値の的確な伝達

- ・史跡の本質的な価値や関連遺跡を含めた史跡周辺の歴史を学習し、地域の魅力をさらに認識することができるよう再整備を進める。
- ・富山の城に興味をもつ人々の多くが訪れる城であることから、越中の中世城館の学習拠点として人々の興味・関心に応えられるよう再整備を進める。
- ・来場者が現地で安田城跡の本質的価値を理解する上で必要不可欠なサインの設置を行う。
- ・情報が不足している、あるいは来場者に誤った歴史認識を与える可能性がある判断される展示（遺構復元、資料館展示）については、学術的知見を踏まえて情報の追加や修正を行う。
- ・時代に即した技術や機材を用いた解説方法の導入を検討する。

3. 憩いの場としての史跡公園

- ・地域住民や地域外から訪れる人々にとって、学習の場であるとともに、心やすらぐ憩いの場となる史跡公園として再整備を行う。
- ・来場者が安全で快適に利用できる環境づくり（園路の改善、休憩施設の設置等）を推進する。
- ・公園としての価値に関連する要素の保全については、城郭としての価値を損なうことがないよう必要な調整を図り、適切に保全する。

4. 施設の長寿命化対策

- ・当初整備で用いた従来の資材や工法では、施設の寿命が短く、安全管理上も問題があるため、再整備では、史跡の景観になじむ現代資材・工法を積極的に採用し、史跡を公開に適した状態で長く維持することを目的とした長寿命化対策に取り組む。

5. 維持管理とのバランス

- ・再整備の方法等の検討にあたっては、再整備後の維持管理とのバランス（費用対効果）を十分に考慮する。

おもな目的	おもな再整備の内容		
	堀	堀以外の広場設備	資料館
遺構の確実な保存	・浚渫、護岸・堀底の改修		
施設の長寿命化対策、安全性の確保	・護岸・堀底の改修	・土塁展示施設の改修 ・本丸土塁の木製階段の改修 ・園路舗装の改修	・資料館周囲の木柵の改修
史跡の本質的価値の的確な伝達		・右郭の土塁表現(植栽)の改修 ・二の丸北東部分の土塁復元(盛土)の追加 ・サインの増設(情報の追加、QRコード) ・野外模型の改修(情報の修正・追加)	・資料館の常設展示の改修(情報の追加・修正、映像コンテンツの追加) ・映像設備の改修(機器や設置場所等の変更)
快適に利用できる環境づくり、利便性の向上		・休憩施設の新設 ・園路舗装の改修	・映像設備の改修(来館者による映像の再生)
憩いの場づくり、広場の魅力向上、来訪の契機づけ	・水生植物の植栽		

表 7-1 想定されるおもな再整備の内容と目的